

NCB

NISHI-NIPPON CITY BANK

西日本シティ銀行は、
おかげさまで創立10周年。



ココロがある。 コタエがある。

このまちに息づくお客さまと

このまちを想う企業の皆さまに

支えていただいた10年。

私たちは、感謝することからはじめます。

感謝のココロが、未来をつくるコタエになる。

私たちは、そう信じています。

お客さまの人生を支え、

事業の成功をお手伝いしたい。

地域No.1バンクを目指して、次の10年へ。

これからの西日本シティ銀行に

ご期待ください。



経営理念

【理念】

西日本シティ銀行は、高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する”九州No.1”バンクを目指します。

お客さまに一番近い

お客さまに一番近い銀行として、誠実に対応し、圧倒的に支持される銀行を目指します。

地域に貢献する

健全経営を基本に、地域に貢献し、積極的に社会的責任を果たすことで、広く信頼される銀行を目指します。

期待に応える人づくり

あたたかな心とチャレンジ精神を持ち、自由闊達で積極果敢に行動する人づくりに努めます。

【行動憲章】

心がある

私たちは、いつもお客さまの身になって、丁寧に対応し、真摯にご相談に取り組みます。

情熱がある

私たちは、いつもお客さまの声に、熱く行動し、チャレンジし、スピーディにお応えします。

夢がある

私たちは、いつもお客さまの期待をこえた、新しく、価値のある提案をお届けします。

シンボルマーク

シンボルマークには、西日本シティ銀行がお客さま・株主・社会とともに成長し、喜びをわかちあい、地域に根ざした花を咲かせていくという願いを込めました。上部の花びらはそれぞれがステークホルダー（個人や法人のお客さま、株主、地域社会、行員など）を表し、下部の人間像はそれらを力強く支えていく西日本シティ銀行の姿勢と喜びを表現しています。また、全体をユニークで独自性の高いフリーハンドで図案化し、躍動感や人間的優しさを表現しています。コーポレートカラーは、あたたかい人間性や輝く太陽を表すオレンジと、洗練性や先進性を感じさせるブルーの2色を使用しています。



CONTENTS

3 ごあいさつ

5 【特集】企業インタビュー

技術力を武器に九州から世界へ！
海外進出企業に聞く。

ものづくりで日本を元気に！
九州の先進企業に聞く。

9 人生まるごとサポート宣言！

11 西日本シティ銀行は、
はたらく女性のミカタです！

13 NCB NEWS

17 CSR 地域との共栄

19 業績ハイライト

21 安心に向けた取組み

22 企業プロフィール・ネットワーク

お客さまのため、地域の皆さまのために「汗をかく」銀行へ



取締役頭取
谷川 浩道

取締役会長
久保田 勇夫

皆さまには、平素より西日本シティ銀行をお引き立ていただき、感謝申し上げます。当行はおかげをもちまして、平成26年10月1日に創立10周年を迎えることができました。これもひとえに

皆さまの温かいご支援、ご愛顧の賜物と心より厚く御礼申し上げます。今年度は創立10周年を迎えた「感謝の気持ち」とともに、次の10年に向けた人財の育成や、より一層高度なサービス

の提供を通して、お客さま、地域の皆さまとともに飛躍していきたいという想いを込めて、記念事業を展開しています。

この創立10周年を機に、様々な困難を乗り越えてきた経験を忘れることなく、お客さまの気持ちが一番わかる銀行として、さらにお客さまや地域の皆さまとの関係を深め、これからの10年に向け挑戦し、飛躍していくため、役員一同、引き続き邁進してまいります。

日本の経済と九州経済の概況

平成26年度上期のわが国経済は、雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しや、設備投資の増加などを背景に、緩やかな回復基調が続いておりますが、足元では、生産、輸出など一部に弱い動きがみられるほか、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。当行の地元である九州地域の経済も同様に、

緩やかな回復基調にありますが、生産、輸出など、一部に弱い動きもみられます。

ライフサイクルに応じた最適なサービスのご提供

法人のお客さまのライフサイクルに応じたさまざまなニーズを起点に、「企業まるごとサポート」をコンセプトとして、海外進出や成長分野への支援など、最適なサービスを提供してまいりました。

海外進出支援に関しましては、香港における「日系ビジネス交流会」や、アジアでの事業展開を目指す地元企業の皆さまへの支援として「アジアビジネスセミナー」を開催し、お客さまの海外ビジネスに関連したさまざまな情報の発信を行いました。また、グループ会社の株式会社NCBリサーチ&コンサルティングに設置した国際コンサル室を活用した、きめ細かなサポートを展開しました。

地場産業の育成としては、「ふくおか県酪農業協同組合」とのABL協定に基づき、民間銀行として初めて、ふくおか県

中期経営計画の概要 【計画期間：2014年4月～2017年3月】

「New Stage 2014～汗をかこう～」

「New Stage」で目指す銀行像
国内トップレベルのサービスを地元で提供し、お客さまとともに栄える“九州No.1バンク”

「求められるファクター」

お客さま志向

スピード感をもって、多様化するお客さまのニーズに的確に応えられるよう、常に考え、積極的に提案し、行動する銀行を目指します。

優れた人間力

あたたかな心を持ち、お客さまの心に共感し、日々人間性を高める努力を怠らない銀行を目指します。

質の高いサービス力

それぞれの分野で、基本を大切に、お客さまに質の高いサービスを提供し、信頼と安心が得られるよう、プロとしての妥協を許さぬ気構えを持つ銀行を目指します。

【コンセプト】

お客さまのために、グループの総力を結集し、さらなる成長を図る
「領域拡大・質的发展ステージ」

4つの基本戦略

人間力の向上

「まるごとサポート」の充実

「考える営業」の定着

営業領域の拡大

地域との共栄

地場産業の育成・支援

地域振興への能動的関与

積極的なCSR活動

機能強化戦略

法令等遵守態勢

リスク管理

情報基盤 (ICTインフラ)

7つの課題

お客さま対応力の向上

グループ総合力の発揮

営業基盤の拡大

営業チャネルの最適化

ブランドロイヤリティの向上

経営品質の向上

地域との共栄

酪農業協同組合の組合員へ資金対応を行ったほか、日本政策金融公庫との協同により、農業組合法人への設備資金融資を実施しました。加えて、ファンドを活用

した事業支援として、「NCB九州6次化応援ファンド」を通じて地域金融機関としては最多となる3件目の出資を行うことを決定したほか、地域経済の活性化

化、雇用の創出のためヘルスケア事業者の方への支援を目的に設立された「地域ヘルスケア産業支援ファンド」への出資を行いました。また、外部機関と連携したビジネス支援として、九州大学との産学連携協定に基づき、新たな産学連携企画となる「ビジネス創造交流会」を開催しました。こうした取組みのほか、創立10周年記念事業の一環として、福岡県信用保証協会との単独提携商品「NCBサンクス10ふくおか」の取扱いを開始し、地元の中小企業の皆さまの支援を行いました。

「お客さまのさまざまなニーズにお応えするために」
個人のお客さまのライフステージから生じるさまざまなニーズを起点に、「人生まるごとサポート」をコンセプトとした最適なサービスを提供してまいりました。アクティブに活動する女性の皆さまの多様なニーズへ対応するため、女性専用カードローン「キレイのトビラ」の取扱いを開始したほか、相続により資金を受け取られた個人のお客さまの資金運用ニーズへの対応として「相続定期預金」の取扱いを開始しました。また、福岡を訪れる外国人観光客の皆

さまの利便性向上を図るため、太宰府支店に自動外貨両替機による外貨買取サービスの取扱いを開始しました。

創立10周年記念事業の一環としては、「10周年感謝定期預金」の取扱いを開始したほか、「創立10周年記念『夢いっぱい!!ドリームキャンペーン』」においては、年末ジャンボ宝くじ付き定期預金を取扱いしました。

「創立10周年、そして次の10年に向け、お客さまとともに成長し、さらなる飛躍を目指す」
当行は平成26年10月1日に創立10周年を迎えました。お客さまのため、地域の皆さまのために、「汗をかこう」地域金融機関として、「新たなステージ」へ大きく踏み出します。そして、次の10年に向け、お客さまとともに成長し、「日本をリードする地域“九州”の創造」に積極的に取り組んでいきます。

今後とも、当行は、役職員一同、地域金融機関の本分に立ち返り、地域経済の活性化のため、たゆまぬ努力を傾注してまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社オークマ (左)代表取締役社長 大隈 晴明 氏 (右)専務取締役 大隈 賢一郎 氏

◀ 特集 ▶
企業インタビュー①
技術力を武器に
九州から世界へ!
海外進出企業に聞く。

「日本品質」で、 中国市場に挑む!

福岡で住宅用木製部材の製造・販売業を営み、数多くの大手住宅メーカーと取引のある株式会社オークマ。創業100年を超える老舗企業が、今、中国に工場を構え経営をスタートさせた経緯とは。大隈社長に話を聞いた。

老舗が挑戦する、 2つの新事業。

福岡県朝倉市に本社を構え、創業から100年以上、日本の住宅市場を支えてきた株式会社オークマ。長年続いてきた秘訣を大隈社長に尋ねると、「いかに時代の変化に対応していけるかが大切」との驕りのない言葉が返ってきた。「現在、ライフスタイルの変化や不景気などで、住宅市場は大変厳しい状態です。これまでと同じようなことをしているのはダメだと感じています。」そこで数年前からオークマは、2つの新事業に取り組み始めた。

「一つは、自社ブランドの製品を開発すること。他社と差別化できる強い製品が必要だと考えています。」10年ほど前から始まった取組みだが、現在、耐火性能とこちよさを兼ね備えた「木製防火ドア」が首都圏のホテルやマンションに多数採用されたり、その他デザイン性に優れた建具「AKARIDO」が福岡産業界でデザイン賞を受賞するなど、少しずつ成果が実り始めている。「そしてもう1つの新事業は、中国への進出。日本の少子高齢化が進んでいくなかで、人口だけ見ても日本とは桁違いな隣国を、見過ごす手はありませんでした。」

日本の常識が通じない！
コスト至上主義の壁。

「もともと出張ベースで中国の企業と取引をしているなかで、こっちに出てきてくれないかと声をかけていたのがキツカケでした。」中国の住宅市場は、スケルトン（構造体）の状態で購入し、インフィル（間仕切りや設備）は自分たちで作るとというのが主流だが、近年、日本のようなインフィルまで完成されたマンションが人気を集め始めている。そのため、規格化された製品を大量に納品できるメーカーが求められており、オークマに声

がかかったのだ。「中国の住宅は、見た目は豪華絢爛でも、内部を見てみると継ぎ目がずれていたり、水漏れしたりなど、細かいところまで行き届いていない家が多いんです。それは品質よりコストが重視される市場だから。しかし、我々の武器はやはり品質です。中国に拠点を構えることでコストダウンを図りつつ、勝負しようと思いましたが、こうして、中国武漢での本格的な事業がスタートした。

「信頼」を武器に、100年続く会社を。

「西日本シティ銀行には、資金面でのサポートはもちろん、信頼できる

が揃わないんです。そんな中でも、性能は落とさず自身の仕様を変えることで、製品の質を保つ努力をしています。さらに、材料の仕入れは工場に直接出向き自分の目で確かめたり、納品したものも粗悪品が混ざっていないかひとつひとつ検品したりしています。慣れない市場のなかでどれだけ日本の品質に近づけられるか、日々、試行錯誤です。」

販売先や仕入れ先を紹介していただいたり、他の日系企業との交流の場を設けていただいたり、慣れない中国市場の中でネットワークを築くお手伝いもしていただきました。」

中国で事業展開する上で、オークマが大事にするのはやはり信頼関係だ。「周りに支えてもらいながら100年やってこれた会社です。進出の際にも、多くの取引先に支えてもらいました。中国でも人と人との繋がりを大切にしながら、同じように100年続くような会社にしていけたらと思っています。」

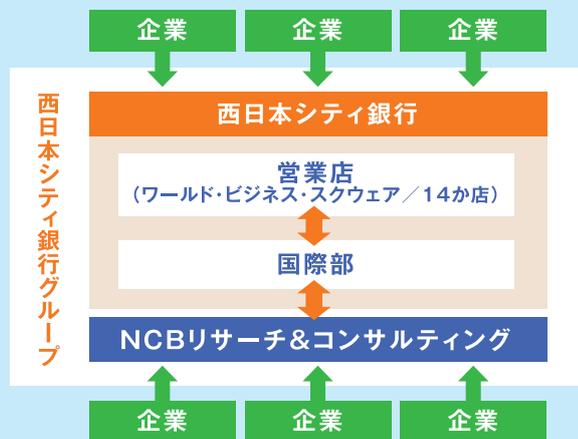


(右上)木製防火ドア (左上)AKARIDO (左下)内装ドアの製造工場

西日本シティ銀行グループの 国際ビジネス支援態勢

◎グループ総合力でお客さまをサポート

西日本シティ銀行と、グループ会社のシンクタンクであるNCBリサーチ&コンサルティングが連携し、グループの総合力を発揮してお客さまをサポートしています。また、平成25年4月からは、営業店14か店に設置した専用窓口「ワールド・ビジネス・スクエア」にて、お客さまの外国為替取引や海外ビジネスに関するご相談の受付とサポートを行っております。海外のネットワークは、香港、上海、ソウルの駐在員事務所に加え、中国銀行、新韓銀行など6行の海外金融機関や、貿易関連機関と提携関係にあります。



西日本シティ銀行グループは、ウェブサイト (<http://www.johoza.co.jp/asia/>) や、テレビ番組(「アジアへの扉」)を通じて、アジアビジネス情報をご提供しています。



株式会社ピーエムティー 代表取締役 京谷 忠幸 氏

◀ 特集 ▶
企業インタビュー②
ものづくりで
日本を元気に!
九州の先進企業に聞く。

「チーム力」で、 革新的な製品を!

福岡に本社を構え、超精密加工機器の

製造・販売を行っている株式会社ピーエムティー。

エレクトロニクスの世界で十数年やってきた会社が、

近年、医療やバイオ、食品機械、

自動車業界で新事業を始めている。

その狙いとは? 京谷社長に話を聞いた。

【新市場開拓で、 脱! 下請け企業。】

京谷社長は、素材メーカー、商社勤務を経て、29歳という若さで会社を設立、ITバブル崩壊やリーマンショックを経験して今にいたる。そんな社長も、今のエレクトロニクス業界に対し、非常に危機感を抱いている。「エレクトロニクス業界は、非常に厳しい状態です。10年前に比べて売上は6割減くらい。さらに、中国や韓国に日本の技術がどんどん流れていっている。今後、ものづくりで食べていくには、どこかの企業に依存しているだけではやっていけません。自

社がイニシアチブを取って、様々な企業と取引していけるものを開発していく必要性を感じています。」そのような考えをもとに、ピーエムティーは数年前から医療やバイオ、食品機械、自動車業界に参入し、新しい事業を展開し始めている。「エレクトロニクス業界以外の市場に挑戦し、事業の幅を広げたいことで、どこにも依存しない強い会社を作れると考えています。」

【成功の鍵は、多くの人を 仲間にし、衆知を得ること。】

「もともと会社の考え方として、優秀な人材をマネジメントする会社である

うというのがありました。優秀な人を集めて、チームとして会社をやるうと。幼いころに両親を亡くし、人に助けを借りながら生きてきた人生でしたので、自分の力でどうこうではなく、いかに周りを味方につけてやっていくかという考えが根本にあるんです。』はじめは社内で優秀な人材で固め、社長自らも大学に通い知識や人脈を深めていった。さらには、大学の研究室や産総研(産業技術総合研究所)など外部との連携をはかり事業を拡大し始めた。「産総研も工業技術センターも、自社の研究開発部門だと思えばいい。人、モノ、お金、技術、情報、そういうのは内部になくても、

周りにあるものをうまく活用し結びつけていけばいい。そうすることで、スピードも上がるし、ひとつの脳では創造できなかった新しいものが生み出せるんです。最近ではオープン・イノベーションと呼ばれることもあります。今年9月に行った、タキカワエンジニアリング株式会社のM&Aもそのひとつだ。「タキカワエンジニアリングとは、西日本シティ銀行グループのNCBリサーチ&コンサルティングの紹介を通じて知り合いました。レーザー計測を使った測定器という特殊な製品と、自社にはない業界に取引先を持っている点が決め手でした。西日本シティ銀行

には資金面の相談にも乗っていただき、また先方の社長様がNCBリサーチ&コンサルティング発行の雑誌に載っている私のインタビュー(『飛翔』2015年4月号)を事前に読んで、共感していただいていたのもあって、スムーズに話がまとまりました。』今後も、機会があれば積極的に友好的なM&Aを進めていく予定だという。「今、企業は企業でしか譲り受けできない時代だと思っています。M&Aは、その企業が繋いできたバトンを受け、次世代へと繋いでいくという感覚。もちろんリスクも大きいですが、それでも挑戦しないと未来はないと思っています。」

「善の循環」を強みに。
ピーエムティーは、今後もものづくり業における様々な市場に参入し、事業の幅を広げていくつもりだ。「売上重視というわけではないのですが、目指すは100億の企業づくりです。この先も、多くの人を集めて、様々なところで関わりを持って、うちと関わることのできる人を増やしていきたい。良い企業、良い人、良い技術が集まって、良い製品を作る。YKKの創業者・吉田忠雄氏は「善の循環」と言われていますが、そういう循環をピーエムティーの強みにしていきたいと考えています。」

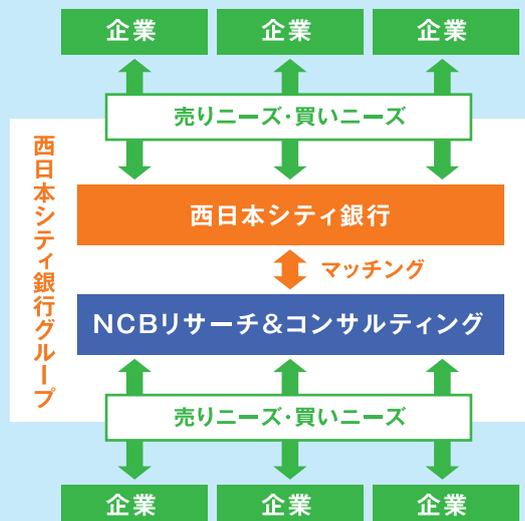


(上)PMT本社工場 (下)超精密加工機器の数々

西日本シティ銀行グループのM&A支援態勢

◎グループ総合力でお客さまをサポート

西日本シティ銀行と、グループ会社のシンクタンクであるNCBリサーチ&コンサルティングが連携し、グループの総合力を発揮してお客さまをサポートしています。西日本シティ銀行とNCBリサーチ&コンサルティングには、それぞれM&A専門チームがあり、多様な情報を活用して、M&Aニーズをマッチングさせており、買収・売却等のM&Aに関する専門的なアドバイスを提供いたします。



NCB ほけんプラザ

人生まるごとサポート宣言!

西日本シティ銀行は、お客さまの人生のさまざまな場面でお役に立てるような幅広いニーズに対応した窓口・サービス・商品で、あなたの人生をまるごとサポートします。

ライフイベントに応じた保障の見直し

保険は、結婚や子どもの誕生、住宅購入などライフイベントに応じて必要な保険の種類や保障額が変わっていくため、その時々に合わせて保障の見直しをすることが重要です。

例えば、結婚は、お互いの病気やけがに備えてがん・医療保障の準備や、専業主婦等であればご主人に万が一のことがあった際に備えて生活費の保障を手厚くしておく必要があります。子どもが生まれると、将来の教育資金や子どもの病気への備え、両親に万が一のことがあっても困らないように死亡保障の増額を考えたければなりません。

住宅の購入では、一般的に団体信用生命保険に加入しますので、現在の保障額を減らすなど、内容を見直す必要があります。

保険の専門スタッフが対応

ただし、たくさんある保険の中から適切な保険料で、かつ必要十分な保障を選ぶのは大変です。そんな時に役に立つのがNCBほけんプラザの保険の無料相談。保険の専門スタッフが保険に対するお悩みや疑問を解決します。

保険の専門スタッフが、疑問点などをわかりやすく説明します。



お客さまに適した保険プランを提案

ご相談は、ご納得、ご安心いただけるよう、じっくり2時間程度、個別に行います。相談内容をもとにお客さまに必要な保障額を算出し、加入中の保険の過不足を分析します。改善点があれば、複数社の保険商品と比較・検討し、必要な保障を組み合わせてお客さまに適した納得いただける保険料の新プランを提案します。

お客さまの保険選びを一生懸命サポートしています。お気軽にご相談ください!



土・日も休まず営業!お気軽にご相談ください。

NCBほけんプラザ店舗

【天神】	福岡市中央区天神2-5-28 ☎ 0120-144-880	【春日】	春日市春日5-17 ☎ 0120-242-070
【笹丘】	福岡市中央区笹丘1-28-74 ☎ 0120-116-731	【小倉南】	北九州市小倉南区下曽根新町10-1 ☎ 0120-242-423
【西新】	福岡市早良区祖原1-1 ☎ 0120-774-060	【久留米】	久留米市新倉川1-2-1 ☎ 0120-511-886
【宗像】	宗像市くりえいと1-5-1 ☎ 0120-172-178	【下関】	下関市細江町1-1-3 ☎ 0120-737-303
【二日市】	筑紫野市二日市中央2-1-15 ☎ 0120-212-007	【宮崎】	宮崎市中央通3-30 ☎ 0120-242-230

営業時間	天神・宗像・笹丘・久留米	平日 10:00 >> 19:00 (休日) 10:00 >> 17:00	※12月31日～1月3日、5月3日～5月5日は除きます。
	西新・春日・小倉南・二日市・宮崎	平日 9:00 >> 17:00 (土日) 10:00 >> 17:00	※平日は17:00からのご予約も受け付けております。
	下関	平日 9:00 >> 17:00	※12月31日～1月3日、5月3日～5月5日、土日以外の祝日、振替休日は除きます。

※平日は17:00からのご予約も受け付けております。

銀行の商品を超えた、専門性の高い
資産運用ニーズにお応えします。

西日本シティT T証券

西日本シティ銀行グループの証券会社である西日本シティT T証券

券では、お客さまの資産運用ニーズにきめ細かくお応えするため金融商品・サービスの拡充に取り組んでいます。専門性の高い資産運用相談やコンサルティングサービスの提供を通じて、お客さまの



あらゆる資産運用ニーズにお応えします。

従来、銀行ではお取り扱いできなかった商品も多数揃えています。現在、西日本シティ銀行の営業店舗内の共同店舗を中心として9店舗で営業しています。

※詳しくは西日本シティT T証券のホームページでご確認ください。



住宅資金や教育資金など、
ライフプランに応じてローンの専門家が
ご相談にお応えします。

ローン営業室、NCBローンプラザ

ローン専門窓口である「ローン

営業室」、「NCBローンプラザ」では、専門のスタッフが住宅ローンをはじめさまざまなローンのご相談をお受けしております。お手続きも専門のスタッフが正確・迅速に対応いたします。土曜日・日曜日にも営業しておりますので、休日にも営業しておりますので、休日に時間を気にせず、ゆっくりゆったり

りご相談いただけます。

住宅や車、お子さまの教育資金など、ローンのことなら何でも「ローン営業室」と「NCBローンプラザ」におまかせください。現在、福岡県を中心に21の窓口で営業しています。

※ご相談窓口の場所、営業時間等は当行ホームページ「休日の相談窓口(ローン営業室)」「NCBローンプラザ」でご確認ください。



西日本シティ銀行は、 はたらく女性のミカタです！

西日本シティ銀行では、仕事やキャリアアップ、ショッピングやレジャー、自分磨きなど、毎日アクティブに行動し、キレイに向かって頑張っている女性を応援するため、3つの女性専用ローンをご用意しています。

エステに行つて
キレイを磨きたい。

お稽古ごとで、
趣味の幅を
広げたい。

ずっと夢だった
マイホームを
手に入れたい！

今度の
婚活パーティは、
とびっきりの
ドレスできめたい。

海外旅行で
自分の世界を
広げたい。

同僚の結婚式に
参加したいけど
今月ピンチ！

住宅ローン



「自分磨き」を
頑張りたいアナタに！

キャリアアップのため、趣味のため、女性としての魅力を高めるため：そんなワンランク上を目指すための「自分への投資」は、できるだけ惜しみたくありません。キレイの「ミカタ」は、そんな自分磨きを頑張る女性にぴったりのローンです。

使い道は自由で、300万円以下のお借り入れなら収入証明書も不要。お申込みは、ご来店いただかなくても、パソコンやスマホ、電話からOK。こそとというときに、頼りになる商品です。

女性のための多目的ローン

キレイのミカタ



かわいいペットに
癒やされたい。

仕事も
プライベートも、
アクティブなアナタに！

パーティやイベント、冠婚葬祭などが続いたりして、気がつけば今月ピンチ！なんてこと、よくありますよね。「キレイのトビラ」は、そんな毎日なにかと忙しい女性を応援するローンです。

「キレイのミカタ」同様、使い道は自由、収入証明書不要、お申込みはパソコンやスマホ、電話からOK。カードローンなので、当行のATMやコンビニATMで、ご契約の範囲内であれば必要な時に必要な分だけ繰り返しお借入れ・返済できます。

女性のためのカードローン

キレイのトビラ



女性ならではの悩みに
応えた住宅ローン。

新築や中古住宅にあわせたリフォーム、借換、住み替え、セカンドハウスなど、理想の暮らしを描く女性のための住宅ローンです。

もし出産育児などで仕事を休業した場合にも、最大5年間の元金措置返済が可能ですので、安心して住宅ローンを組むことができます。そのほか、繰上返済手数料無料や、万が一の場合の保障など、安心ポイント満載の、まさに女性のための住宅ローンです。

女性のための住宅ローン

キレイの住まい



組みたいけど、
育児休暇に入ったら
どうなるのかな？

NCB NEWS 1

株主の皆さまへ二層の利益還元を図ります。

①自己株式の取得

当行は、資本効率の向上を通じて株主の皆さまへの利益還元等の観点から以下の内容で自己株式を取得します。

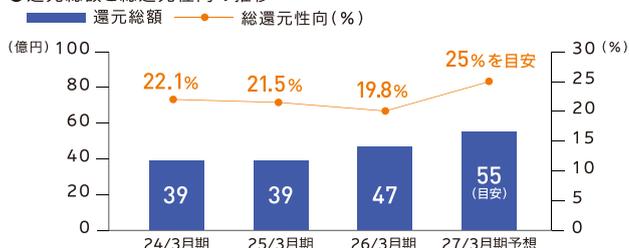
取得する株式の種類	普通株式
取得する株式の総数	17百万株(上限)
株式の取得価額の総額	50億円(上限)
取得する期間	平成26年11月11日から平成27年3月24日まで

※取得する株式の一部は、連結子会社との株式交換において利用する予定です。

②株主還元方針の見直し

今後の株主の皆さまへの利益還元につきましては、1株につき年間5円の安定配当をベースに連結当期純利益の25%程度を利益還元額の当面の目安とし、その時々々の経済情勢や財務状況、業績見通し等を勘案しつつ、行ってまいりたいと考えています。

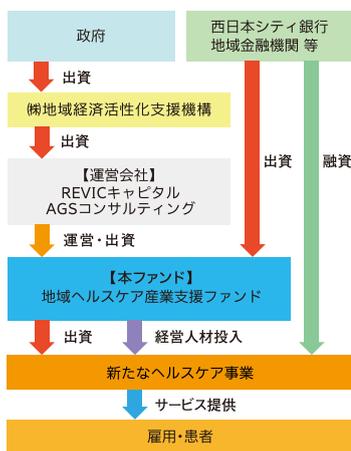
●還元総額と総還元性向の推移



NCB NEWS 2

新たなヘルスケア産業の創出を積極的に支援します。

当行は、地域経済の活性化、雇用の創出に資するヘルスケア事業者の方を支援することを目的に設立された「地域ヘルスケア産業支援ファンド」へ出資しました。このファンドは事業の成長に必要な資金の提供のみならず、地域経済活性化支援機構が豊富に有するヘルスケア産業に精通した経営人材を集中投入することで、新たなヘルスケア産業の創出を目指しています。当行は、地域金融機関として、このファンドを通じて地域経済の発展に貢献するとともに、引き続きヘルスケア産業への取組みを積極的に行ってまいります。



NCB NEWS 3

二セ電話詐欺(振り込め詐欺)の被害の未然防止に努めています。

①ATMコーナーでの携帯電話の通話自粛の呼びかけ

全てのATMコーナーにおいて、お客さまに携帯電話の通話を自粛していただくことにより、「二セ電話詐欺」被害の未然防止に努めています。ATM機器から概ね2m以内の範囲で携帯電話をご利用中のお客さまには、金融犯罪被害を防止する観点から、行員がお声をさせていただきます。ご理解のほど、なにとぞ宜しくお願いします。

②二セ電話詐欺防止キャンペーン

最近、高齢者を狙った金融犯罪が増加していることから福岡県警と連携し、各地区で二セ電話詐欺防止のキャンペーンを行っています。具体的には、警察署員と支店行員で二セ電話詐欺防止チラシの街頭配布や支店窓口にて詐欺防止の為に声掛け訓練を行っています。

③インフォメーションボードによる注意喚起

営業店ロビーの「インフォメーションボード」にて、福岡県警が作成した「二セ電話詐欺」の注意を促す動画を配信し、被害の未然防止に努めています。





八女支店をリニューアルオープンしました。

8月18日、八女支店をリニューアルオープンしました。新店舗では、多様化・高度化するお客さまの資産運用ニーズにお応えするため、当行の証券子会社である西日本シテイT証券の相談ブースを設置しました。また、お手伝いが必要なお客さまにも安心してご利用いただけるよう、全職員がサービス助手士2級などの福祉関連資格を取得しました。

さらに「地域との共栄」をコンセプトに、店舗外観は歴史ある八女市の街並みにあわせ白壁づくりをイメージする意匠としています。また、当行では初の試みとなる公募デザインによるご当地通帳を発行しました。このご当地通帳は、八女の大茶園で笑う八人の子どもと八本の光、虹を描き、笑顔が溢れる八女くをイメージした作品となっています。その他にも、休日の地域イベントへ銀行駐車場を開放するなど、地域経済の活性化や豊かな地域社会づくりにも取り組んでいます。



ご当地通帳のデザイン提供者
八女市在住 東 由佳さん

アジアへの扉



毎週日曜日午後5時25分より
テレビ西日本にて放映中です。

地元九州からアジアビジネスにチャレンジした企業の経緯や特色などを紹介し、グローバル展開のヒントを提供します。これまでの紹介企業は100社を超えています。

志、情熱企業



毎週土曜日午後6時50分より
RKB毎日放送にて放映中です。

未来に飛躍する地元企業の志と情熱を応援する企業紹介番組です。これまでの紹介企業は300社を超えています。

番組提供

地域の「元氣」をご紹介するTV番組をお届けしています。



創立10周年記念事業

本店イルミネーションを 実施しました。

お客さま、地域の皆さまへの感謝の気持ちを表す「本店本館イルミネーション」を、博多駅前および駅前周辺地区の冬季イルミネーション「光の街・博多2014」とあわせ実施しました。

【期間】平成26年11月14日(金)～

平成27年2月24日(火)予定

【時間】17時～24時



創立10周年記念事業

北九州地域雇用応援 フォーラムを開催しました。

10月21日、北九州地域の企業経営者の皆さまを対象とした北九州地域雇用応援フォーラム「おもてなし経営く働きがいのある職場環境と企業の発展をめざして」を開催しました。

講師には、地元で活躍されておられる2社の社長をお迎えし、「地域雇用」と「おもてなし経営」をテーマとして、働きがいある職場環境と企業の発展をめざした取組みについて講演いただきました。



八幡駅前開発株式会社
代表取締役社長 井上 龍子氏

株式会社九州壹組
代表取締役 久保 華国八氏

西日本シティ銀行創立10周年記念
北九州地域雇用応援フォーラム



創立10周年記念事業

国際セミナーを開催しました。 ―九州大学との連携事業―

10月29日、「国際セミナー」を開催しました。このセミナーは、九州大学100周年記念事業の一環として2011年度より実施してきた当行と九州大学との連携事業による研究成果をフィードバックすることを目的としたものです。セミナーでは、九州大学ほか各分野の専門家が、ASEAN、経済統合、自動車産業、環境、エネルギーなどをキーワードに、3部形式のパネルディスカッションにより意見交換を行いました。



【パネルディスカッション概要】

第一部	ASEAN経済共同体はどこへ向かうのか？ ～日本企業と自動車産業へのインプリケーション～
第二部	東アジアの経済と九州企業の海外展開
第三部	環境・エネルギー規制は産業・企業の イノベーション活動や競争力を向上させるのか？



創立10周年記念事業

小学生への金融教育に取り組んでいます。



子どもたちが楽しみながら銀行のしくみやお金の大切さについて学ぶことを目的として、キッズ・サマー・キャンプ「お金のがっこう」を開催しています。平成26年度は、創立10周年を記念して、福岡会場に加え、初めて北九州会場でも開催しました。8月6日開催の北九州会場では、小学5・6年生とその保護者10組、8月7日開催の福岡会場では14組が参加して開催しました。子どもたちはお金や銀行の役割について学習した後、名刺交換の仕方や札勘(さつかん)・銀行でのお札の数え方(かずかた)を習ったり、お金に関するクイズを楽しみました。その他にも、1億円や硬貨の重さ体験、施設見学や窓口体験を通して、銀行の仕事やお金の大切さを実感していました。



創立10周年記念事業

ふるさと再発見！地元の身近な歴史・文化をご紹介します。



「九州流」は、九州の歴史・文化・アジアとの交流をテーマに、国際レベルの視点から地域の情報を掘り起こして発信する「ふるさと発見誌」として、平成21年より発行しています。今回、創立10周年を記念して、「九州流」の特別編集『現代に受け継がれる福岡藩の知恵』を発行しました。本誌では「温故知新」の視点から、町人の気質や文化と融和し、産業振興・地域振興に努めた福岡藩の知恵に注目し、今の福岡の街、そして九州を元気にしているモノ・コト・ヒトの中から、特に福岡藩との縁が深い事象について取り上げ、その魅力や展望についてまとめられています。

地元の身近な話題やゆかりの人物等を取り上げてわかりやすく紹介する「博多に強くなろう」「北九州に強くなろう」は昭和54年より発行。最新号では、「筑紫万葉」を取り上げています。「博多に強くなろう」「北九州に強くなろう」は当行ホームページに全号掲載しています。

CSR

地域との共栄



地域の清掃活動を行っています。

地域の環境美化をお手伝いする清掃ボランティア活動を実施しています。

営業店では、店周りや地元商店街、近くの公園などを、地元の皆様さまへの日頃の感謝の思いを込めて清掃しました。また、本店ではJR博多駅周辺や、秋のイベントが行われる御供所地区のお寺やその周辺を地域の皆さまと共同で清掃しました。今後も地域の環境に配慮したさまざまな活動を行ってまいります。



地域社会のために、できること。

西日本シティ銀行は、地域に根ざした企業市民として、私たちが、地域のため、社会のためにできることを考え、取り組んでいます。

アジア映画中学生鑑賞会 アジアの優れた映画の鑑賞会に中学生を招待しています。

若い世代の国際理解を深めるため、アジアで制作された教育的・文化的価値の高い映画の鑑賞会に、地元の中学生を毎年招待しています。平成26年度は9月16日に「シッダールタ」(2013年、インド・カナダ映画)に約550名を招待しました。



プロムナードコンサート 29年続く、お昼休みのコンサートを開催しています。

本店のエントランスホールで毎月1回、クラシック演奏会「プロムナードコンサート」を無料で開催しています。演奏は「福岡ハイドン弦楽四重奏団」。第1回目の開催と同時に結成された福岡唯一の常設弦楽四重奏団で、日本で初めてハイドンの弦楽四重奏曲全曲演奏を達成しました。

毎年12月にはユニセフ・チャリティ・クリスマスコンサートを開催しています。また、美術館等でも出張演奏会を開催するなど、地域に根ざした活動を続けています。

公演スケジュール等詳細は、当行ホームページの「地域社会貢献活動」(公益財団法人福岡文化財団)でご確認ください。



Culture

Art

経営者賞「公益財団法人経営者顕彰財団」

地域の優れた経営者を表彰しています。

九州・山口地域で中小企業の経営・技術に優れた業績をおさめ、地域経済の発展に貢献された経営者を毎年選定し表彰しています。昭和48年の開始以来受賞者は153名にのぼり、受賞者の中にはその後上場企業に成長された企業の経営者も多く、地元企業の方々の大きな励みとなっています。

過去の受賞者等、経営者賞の詳細は当行ホームページの『地域社会貢献活動(公益財団法人経営者顕彰財団)』でご確認いただけます。



左から/境 豊作 氏、河内 旭 氏、山本 厚生 氏

■第41回「経営者賞」受賞者

氏名	境 豊作 氏	河内 旭 氏	山本 厚生 氏
企業名・役職	株式会社ウエスト・名誉会長	三友機器株式会社・代表取締役会長兼CEO	株式会社フジコー・代表取締役社長
所在地	福岡市	福岡市	北九州市
事業内容	飲食業	食品包装・畜産環境プラントの設計・施工	複合金属製品・環境プラント向製品の製造・販売・補修・操業関連作業、光触媒製品の製造・販売

Award

アジア貢献賞・アジアKids大賞「公益財団法人西日本国際財団」

草の根の国際交流を支援しています。



左から3人目/坂本 毅 氏 左から4人目/秀嶋 正孝 氏



左から2人目/徳成 晃隆 氏 右から3人目/山川 高久 氏

■第15回(平成25年度)「アジア貢献賞」受賞者

団体・受賞者	砂漠緑化団体 オルドスの風・代表 坂本 毅 氏	ベトナム育英会・代表 秀嶋 正孝 氏
活動地域	中国・内モンゴル・福岡県福岡市	ベトナム・佐賀県佐賀市
分野	環境保護	国際協力教育支援
活動内容	内モンゴルの岩塩等の販売収益の一部を活用して現地及び国内の支援者の力を借りながら行う砂漠化防止のための緑化活動。	20年以上に亘り、ベトナムの子ども達や障がい者への奨学金、バスツアー、車椅子の提供等の支援活動。

■第9回(平成25年度)「アジアKids大賞」受賞者

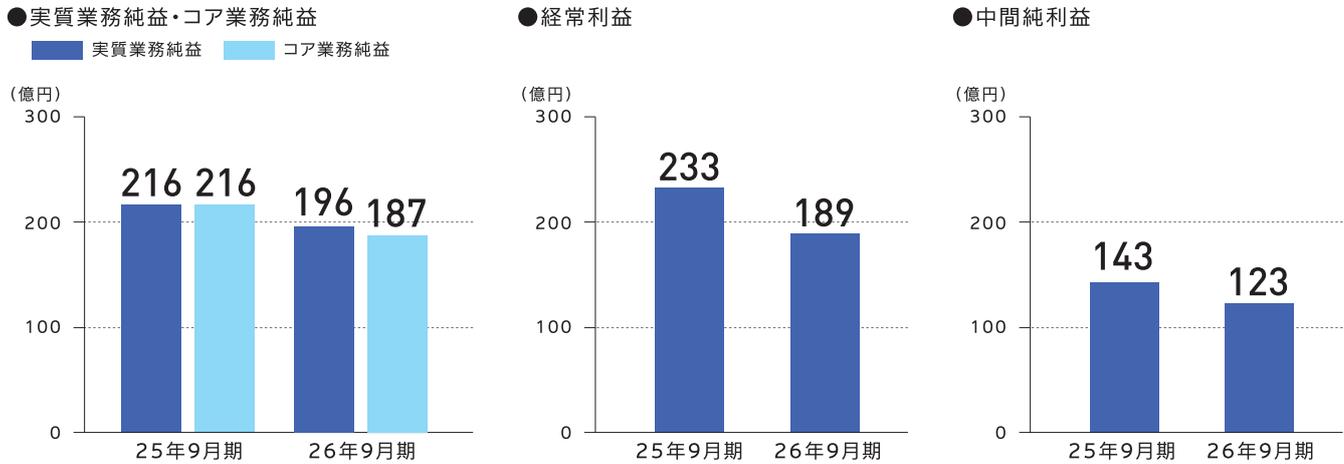
団体・受賞者	芦北町立大野小学校・校長 山川 高久 氏	福岡市立城香中学校・校長 徳成 晃隆 氏
活動地域	カンボジア・熊本県芦北町	中国、韓国等アジア各国・福岡県福岡市
活動内容	カンボジア学校建設のための募金米としての米作りを行う。作付けから収穫、販売、募金までを児童中心に行う支援活動。	外国人児童の日本語指導等、学校を挙げて取り組む。中国語・韓国語クラブ等の課外活動、放送部による外国語放送等、生徒の自主的な活動も活発。

国際相互理解の促進のため、九州・沖縄・山口地域でアジアの発展及びアジアとの国際交流に地道に貢献している団体及び個人を毎年表彰しています。あわせて、未来を担う子どもたちの国際相互理解を育むため、アジア諸国の国際交流を通じて、国際友好親善に貢献している小・中学校、子ども団体等の表彰も行っています。

※上記のほか、「アジア貢献賞15周年記念特別賞」として、NPO法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡、NPO法人社会教育団体ベルボ会の2団体が表彰されました。過去の受賞者等、アジア貢献賞・アジアKids大賞等の詳細は当行ホームページの『地域社会貢献活動(公益財団法人 西日本国際財団)』でご確認いただけます。

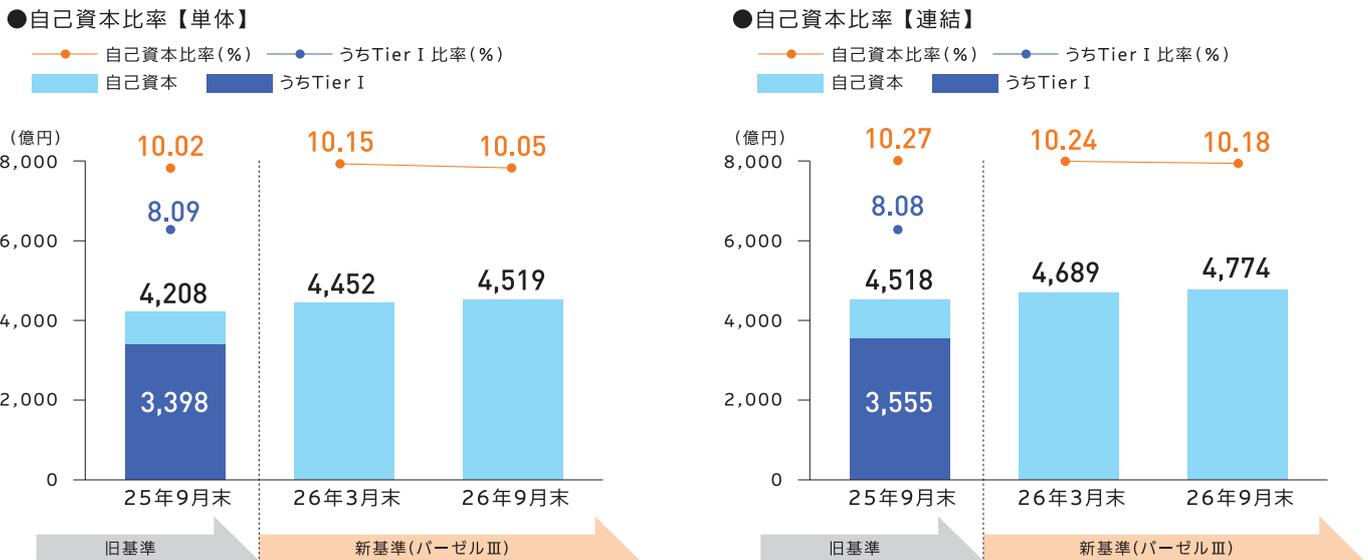
◎損益の状況(単体)

平成26年9月期の実質業務純益は、貸出金利息や有価証券利息配当金等の資金利益が減少しましたが、経費削減に努めたことなどにより、前年同期比20億円減少し196億円となりました。経常利益は、実質業務純益の減少、信用コストの増加等により前年同期比44億円減少し189億円となりました。中間純利益は、経常利益の減少を主因に前年同期比20億円減少し123億円となりました。



◎自己資本比率の状況(単体・連結)

平成26年9月末の自己資本比率は、単体で10.05%、連結で10.18%となりました。なお、自己資本比率規制(第1の柱)に関する告示の一部改正に伴い、平成26年3月末より新基準(バーゼルⅢ)に基づき自己資本比率を算出しております。



【用語説明】

◎業務純益

預貸金業務などによる“資金利益”や投資信託等の販売手数料などの“役務取引等利益”などを含む“業務粗利益”から“経費”を差し引いたもので、銀行本来業務の収益力を表す指標として一般的に用いられています。

$$\text{実質業務純益} = \text{業務粗利益} - \text{経費}$$

$$\text{コア業務純益} = \text{実質業務純益} - \text{国債等債券損益}$$

◎自己資本比率

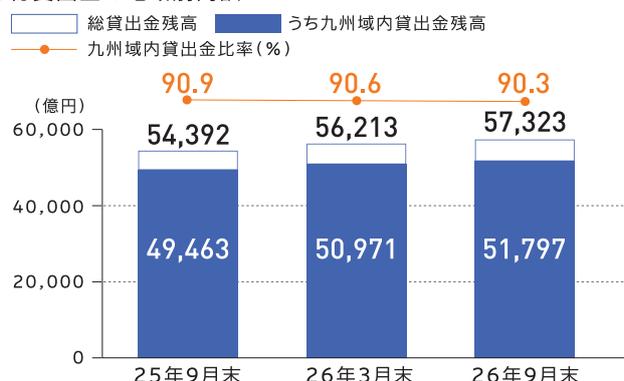
銀行の健全性を示す指標のひとつです。国内基準で4%以上を維持することが求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本(資本金など)}}{\text{リスク度合を考慮した資産}} \times 100$$

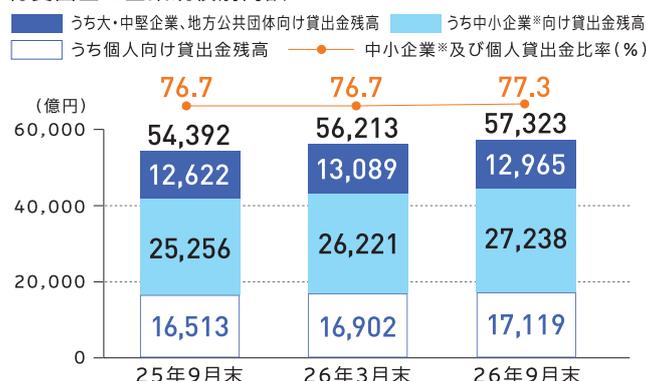
◎貸出金の状況(単体)

平成26年9月末の総貸出金のうち、九州域内での貸出金の比率が90.3%、また、中小企業*及び個人への貸出金の比率が77.3%と九州の特に中小企業・個人のお客さまを中心としたさまざまな資金ニーズにお応えしております。

●総貸出金の地域別内訳



●総貸出金の企業規模別内訳

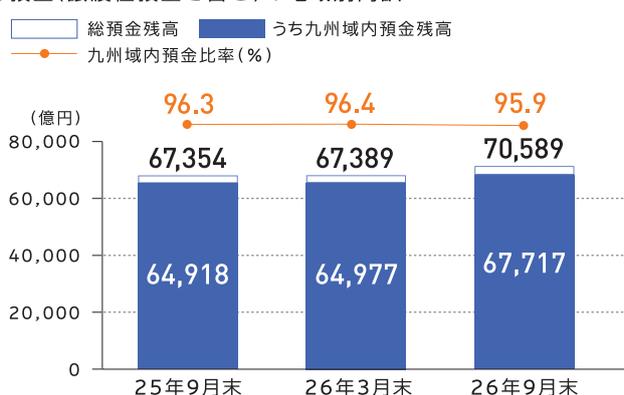


*中小企業…資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円)以下の会社又は常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人)以下の企業等

◎預金・預り資産の状況(単体)

平成26年9月末の譲渡性預金を含む預金残高のうち、九州域内での預金の比率が95.9%、預り資産(投資信託・個人年金保険・一時払終身保険)のうち九州域内での預り資産の比率が97.9%となっており、九州地域の皆さまから多くのご資産をお預りするとともに、皆さまの多様なニーズにお応えするため、商品・サービスの充実を図っております。

●預金(譲渡性預金を含む)の地域別内訳



●預り資産(投資信託・個人年金保険・一時払終身保険)の地域別内訳

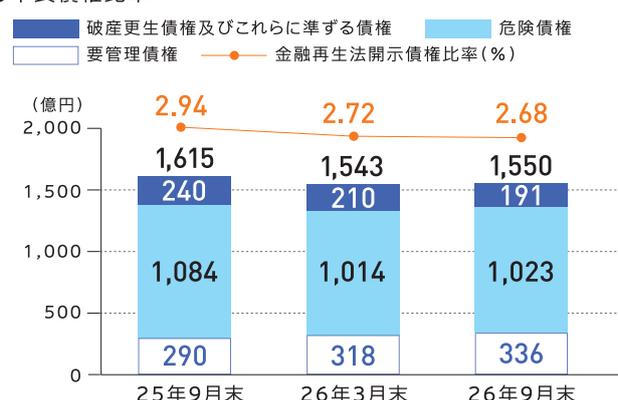


*預り資産残高 = 投資信託残高 + 保険商品販売累計額(個人年金保険販売累計額 + 一時払終身保険販売累計額)

◎不良債権の状況(単体)

平成26年9月末の金融再生法開示債権(残高)は、平成26年3月末比7億円増加し1,550億円となりました。金融再生法開示債権比率は、平成26年3月末比0.04パーセントポイント低下し2.68%となりました。

●不良債権比率



【用語説明】～金融再生法による開示債権の定義～

◎破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産・会社更生・再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

◎危険債権

債務者が、経営破綻の状態には至っていないものの、財務状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権

◎要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

インターネットバンキングの
セキュリティ対策強化に向けた取組み

1 銀行のシステム対策例

NCBダイレクト(個人のお客さま)では、普段とは異なるパソコンから接続された場合は「合言葉」による追加認証を行う等、犯罪者の不正利用を防止するためのさまざまな対策に取り組んでいます。特に当行は、安全性が飛躍的に向上する「ワンタイムパスワード」の携帯・スマートフォンアプリを提供しており、お客さまのご利用を強くお勧めしています。NCBビジネスダイレクト(法人・個人事業主のお客さま)においても、登録したパソコン以外からは接続できない仕組みに加え、小型専用端末(無償)で利用可能な「ワンタイムパスワード」もご利用いただける等、不正送金防止に向けた対策に取り組んでいます。

2 お客さまのご利用のパソコンへの対策例

当行ホームページでは、偽サイトへの誘導(フィッシング)や、ウイルス(スパイウェア)によるパスワード等の窃取を防止する、「不正送金対策ソフト」を無料で配布しています。

3 お客さまへの注意喚起

お客さまご自身の被害防止への意識向上のため、次のような注意喚起を行っています。

- ① セキュリティ対策ソフトによる定期的なスキャンや、他のソフトも含めた最新化。
- ② パスワード等の定期的な変更や、取引結果メールの通知先・振込限度額の見直し。
- ③ 承認機能のご利用(NCBビジネスダイレクトのお客さま)。
- ④ パソコンを利用しない時のログアウトや回線の切断、電源オフの励行。
- ⑤ 不審なサイトやメールは絶対に開かない。
- ⑥ 不審な画面が表示された場合、パスワード等は絶対に入力しない。…等

視覚障がいをお持ちの
お客さまに配慮した取組み

1 視覚障がい者対応
(受話器型操作機付)
ATMの増設

全ての営業店に1台以上の設置が完了し、店外ATMコーナーと合わせ725台となりました(平成26年9月末現在)。今後も順次増設を行い一層の利便性向上に努めてまいります。



2 点字文書の
無料郵送サービス

取引店窓口で直接または電話でのお申込により、左記の取引明細等を点字で作成し、ご自宅宛に郵送するサービスを実施しています。

【対象取引】普通預金・貯蓄預金取引明細の通知(1か月単位で送付)、定期預金満期の通知(満期日到来の都度送付)
その他、窓口振込手数料の優遇や代筆・代読のご対応を実施しております。詳しくは、お気軽に取引店窓口にお問い合わせください。

ご相談・お問い合わせ

●ご意見・苦情

◎西日本シティ銀行お客様サービス室

☎ 0120-162-105 または FAX.092-461-1916

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00
(祝日および銀行休業日は除きます)

24時間

◎西日本シティ銀行の本支店窓口

●金融犯罪被害に関するご相談(振り込み詐欺・預金不正引出し等)

◎金融犯罪被害に関する相談窓口

☎ 0120-797-919

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00(祝日および銀行休業日は除きます)

●金融ADR(裁判外紛争解決手続き)制度 指定紛争解決機関

◎全国銀行協会 相談室

TEL.0570-017109 または TEL.03-5252-3772

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00(祝日および銀行休業日は除きます)

◎信託協会 信託相談所

☎ 0120-817335 または TEL.03-3241-7335

【受付時間】月～金曜日9:00～17:15(祝日および銀行休業日は除きます)

●金融円滑化相談窓口

すべての営業店のご融資窓口およびビジネスサポートセンター、NCBいつでもプラザ(インスタブランチ)、ローン営業室においてご相談・お申込みください。

店舗網・海外ネットワーク



●店舗数198か店

福岡県／173店	鹿児島県／1店
佐賀県／4店	山口県／2店
長崎県／3店	広島県／2店
熊本県／2店	岡山県／1店
大分県／5店	東京都／1店
宮崎県／3店	大阪府／1店

●海外駐在員事務所3か所

ソウル駐在員事務所
上海駐在員事務所
香港駐在員事務所

●ATM／1,376台

店舗内912台
店舗外464台
※コンビニATM除く

●提携金融機関

りそなブルダニア銀行(インドネシア)平成8年提携
中国銀行(中国)平成13年提携
国際協力銀行(日本)平成13年提携
新韓銀行(韓国)平成19年提携
OCB(ベトナム)平成20年提携
BNPパリバ(ベトナム)平成20年提携
バンコック銀行(タイ)平成21年提携

(平成26年9月30日現在)

プロフィール

商号	株式会社西日本シティ銀行
設立	昭和19年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
資本金	857億円
店舗数	198か店
従業員数	3,935名
総資産	8兆1,120億円
預金・譲渡性預金残高	7兆589億円
貸出金残高	5兆7,323億円

(平成26年9月30日現在)

株式のご案内

- 1 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- 2 定時株主総会 6月に開催いたします。
- 3 配当金の
お支払いについて 【期末配当金】3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。
【中間配当金】取締役会の決議によって中間配当を行う場合は、9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。
配当金のお受取りには、当行の預金口座への振込をご利用いただけますと、速くて便利です。
- 4 基準日 定時株主総会については3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 5 公告方法 電子公告による公告とし、当行ホームページ(<http://www.ncbank.co.jp>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、西日本新聞と日本経済新聞に掲載いたします。
- 6 株主名簿管理人
特別口座の
口座管理機関 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号日本証券代行株式会社
(1)事務取扱場所
福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
電話:福岡(092)741-0284
(2)お問い合わせ先
〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部/0120-707-843(フリーダイヤル)
〈ご注意〉株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

※計数につきましては、原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

平成26年12月発行 株式会社西日本シティ銀行 広報文化部 〒812-0011福岡県福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号 TEL 092-476-1111(代表)

ホームページ <http://www.ncbank.co.jp>

